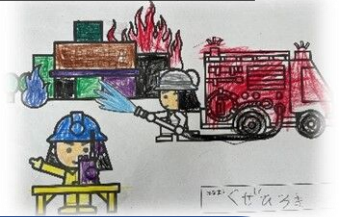




防災だより

～防災教育に力を入れて取り組んでいます～



『学校での取組み』

命を守る訓練・シェイクアウト訓練

今年度は、4月に「地震」、5月に「火災」、6月に「浸水害」、12月に「複合災害」を想定した4回の命を守る訓練と、地震の際に安全確保行動をとるためのシェイクアウト訓練を月に1回ずつ行いました。

4月5月の訓練では、新しい教室からの避難や地震・火災それぞれの対応の仕方等を学びました。また、6月の訓練では、浸水害を想定した垂直避難の訓練を行いました。ご家庭で準備していただいた自助バック（個々の実態に合わせた、非常食や水、食器具、薬、おもちゃ等が入っています）を背負ったり、長時間の避難に備えたグッズを持ったりして、2階・3階の教室に避難しました。

12月には震度5強の地震に加え、調理室にて火災が発生した想定での訓練を行いました。ガラスの破片に見立てたペットボトルキャップを避けて通ったり、地震で家具等が倒れて道がふさがれているところを避けて別のルートで避難したりすることができました。訓練中は、教師の話や放送をよく聞き、いつもとは違う様子の校内を慎重に歩いたり、ポケットからハンカチを出して口を塞ぎ、姿勢を低くして避難したりする姿も見られました。

また、シェイクアウト訓練では、地震が起きた時に、すばやく安全な行動がとれるよう、様々な時間帯で訓練を行っています。回を重ねるたびに、緊急地震速報が流れると、自分で安全な姿勢をとったり、周囲を見て、物が落ちていないところに移動したりする姿が見られるようになってきました。



防災月間① *地震体験車・水消火器の体験*

9月の防災月間では、小学部6年生と中学部1・3年生、高等部2年生の希望者が、地震体験車で揺れを体感しました。大きな揺れを感じ、身体を低くして机の脚をしっかりと持つことの大切さを学ぶことができました。

また、中学部のⅢ学級と高等部の3年生・Ⅲコースの生徒は、水消火器を使って、初期消火を安全に行うための体験をしました。どの生徒も消火器をしっかりと持ち、対象物をよく狙って放水することができました。



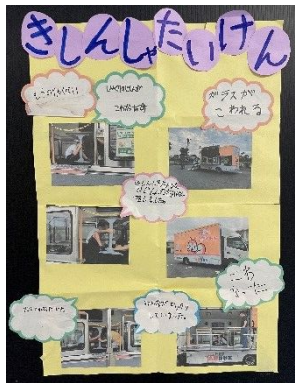
防災月間② *防災掲示板*

中央廊下に防災掲示板を設置し、災害図上訓練（全校DIG）をしました。地震の時に倒れそうなものはないか、危険な場所はないか等、災害を具体的に想像し、危険箇所を確認してまわり、掲示板の校内図に書きこみました。

また、防災に関する塗り絵や注意喚起のポスターの作成、防災クイズや浸水害についての調べ学習にも取り組み、防災・減災についての学習をしました。高等部の生徒は水害について学ぶだけでなく、ふり仮名をつけたり、「ここをめぐってね」と書いた下にクイズの答えと解説を記載したりして、下級生にも興味をもってもらい、分かりやすく伝えるよう工夫していました。全校での防災月間の取り組みを通して、自分たちが生活する学校内の危険を知ると共に、楽しく防災の知識を高めることができました。



消火器訓練



地震体験車



『職員研修』

当校では、児童生徒の命を守るため、職員一人ひとりが災害時に適切な判断と行動ができるよう、実践的な防災研修を重ねています。今年の夏の研修では、大垣中消防署の方を招き、初期消火や負傷者の搬送、救助袋を使った避難、非常用電源の操作等を体験し、緊急時に迅速に対応するための知識と技術を確認しました。

研修を通じて、職員からは『実際に体験することで自分の役割がより明確になった』『災害時に落ち着いて行動するための自信がついた』という声が聞かれ、意識の高まりを感じています。今後も、学校全体で防災力を高め、子どもたちの安全を守るために努力していきます。

防災研修の様子



水消火器を使った初期消火訓練



救助袋での避難



負傷者の運搬



災害は起きてほしくありませんが、学校では、いつ起こるかわからない災害に備え、年間を通して防災訓練や防災教育を実施し、防災体制の強化に努めています。訓練だけで終わりにせず、日常生活の中で『危ない箇所はないか』『落下の危険はないか』『どこが安全な場所か』を一人ひとりが意識することが大切です。

冬季休みに入ります。ご家庭でも、今一度、防災グッズや非常用持ち出し袋の見直し、避難場所や連絡方法の確認をお願いします。いざというときに備えることが、子どもたちの命を守る第一歩です。

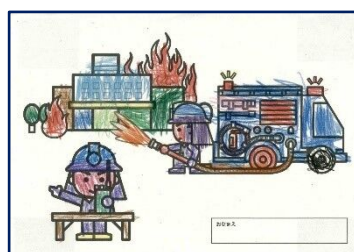
7月と11月に実施した「減災教室」の結果は、次回の『防災だより2号』でお知らせしていきます。

これからも、学校とご家庭が協力し、子どもたちの安全を守るために防災意識を高めていきましょう。

防災塗り絵



高3



小4



小1



高3

煙道体験

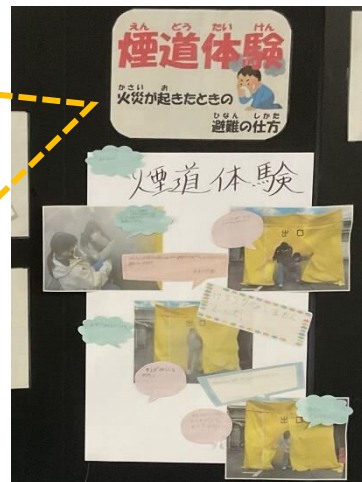
令和7年12月16日(火)、小学部4年・5年、中学部2年、高等部1年の児童生徒は、グラウンドにて煙道体験訓練を実施しました。

大垣市消防組合中消防署の消防士の方にご指導いただき、火災現場を想定した、煙が充満したテント内を歩く貴重な体験をすることができました。

(*消防署の指導の下、人体に害のない煙を使用しています)

児童生徒は、教師と一緒に、煙の中で「姿勢を低くすること」「壁を伝って歩くこと」など、命を守るための行動を実践しました。

実際に煙の中を歩く体験は初めての児童生徒がほとんどで、「前が見えない」「息がしづらい」といった感想をもつなど、火災時の危険を身をもって感じる事ができました。この体験を通して、「落ち着いて行動すること」の大切さも学ぶことができました。



高等部卒業生の皆さんへ

高等部卒業おめでとうございます。

これまで学校で学んできた防災の知識や備えは、これからの人生ですずっと役立つ大切な財産です。卒業後も、ぜひ防災意識をもち続けて自分の命を守ることができるようにしてください。

防災教育で大切なことは、「自分の命は自分で守る」という意識と、「周りの人と助け合う」という気持ちです。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。日頃から備えておくこと、家族や身近な人と連絡方法を確認しておくこと、そして地域の避難場所を知っておくことが、いざという時に自分と大切な人を守ることに繋がります。

進学や就職で新しい環境に入る皆さんには、新しい場所での避難経路や防災設備を確認すること、職場や学校での防災訓練に積極的に参加することをお勧めします。そして学んだことを、ご家族や友人とも共有してください。

これからも、安全で安心な毎日を過ごせるよう、防災意識を忘れずに歩いて行ってください。皆さんのご活躍を心よりお祈りしています。



保護者の皆さまへ

防災教育は一度学んで終わりではなく、日々の積み重ねがとても大切です。

学校では今後も、避難訓練や防災学習を継続し、子どもたちが「自分で考え行動できる力」を育てていきます。ご家庭でも、災害用伝言ダイヤルの体験利用、避難場所の確認、非常持ち出し袋の準備等、お子様と一緒に取り組んでいただくと幸いです。「もしもの時、どうする?」という日常の中でのちょっとした会話が、いざという時の落ち着いた行動につながります。

家庭と学校が連携して、子どもたちの安全を守っていきましょう。今後とも、防災教育への温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

安心して学べる学校づくりを、これからも皆様と共に進めてまいります。

